

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和6年
6月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から5月30日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、5月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は0人、休業4日以上之死傷者数は65人**となっています。

業種別では道路貨物運送業が大幅に増加しており、事故の型では転倒災害が増加しています。

令和6年は令和5年と比較すると労働災害が大幅減となっており、ここからの災害発生ペースによっては、目標である190人未満の達成も不可能ではありません。

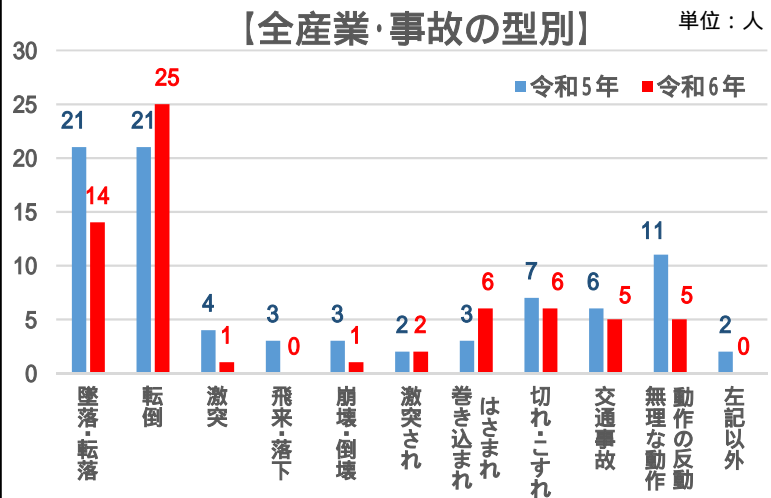
7月1日から7日は全国安全週間であるとともに、7月は墜落災害防止強調月間でもあります。

この機会に今一度身の回りの危険箇所を見つけ出していただき、対策を講じていただきますようお願いいたします。

【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

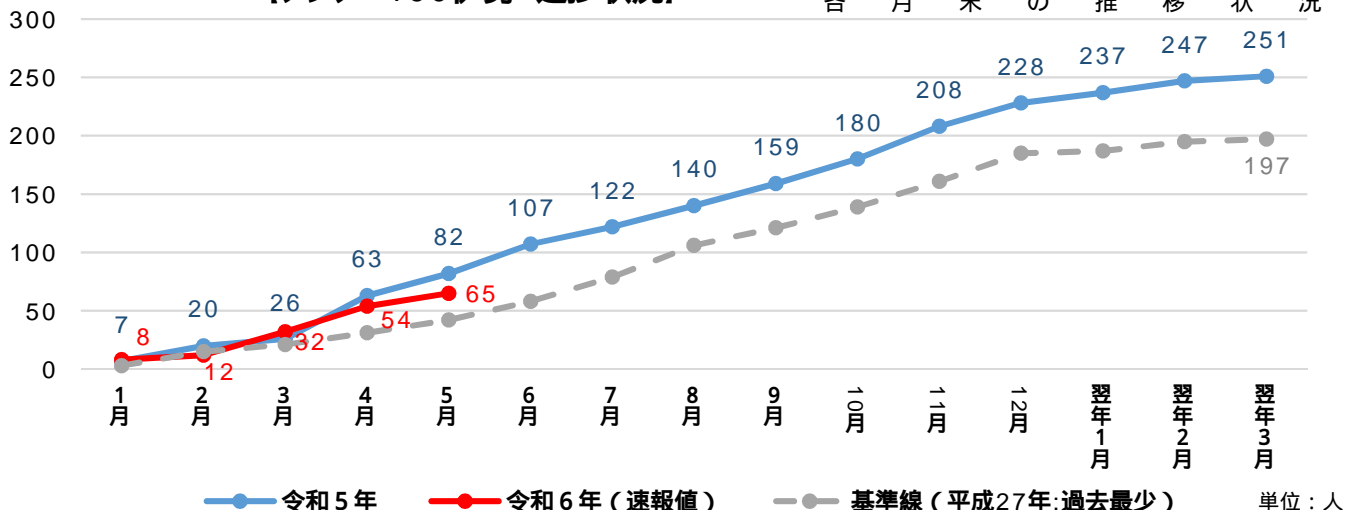
	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種		83		65	-18	-21.7%
製造業		16		10	-6	-37.5%
建設業		12		7	-5	-41.7%
道路貨物運送業		3		6	+3	+100.0%
林業		2		2	±0	±0.0%
小売業		11		11	±0	±0.0%
社会福祉施設		10		8	-2	-20.0%
旅館業		9		9	±0	±0.0%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



令和6年度 全国安全週間

危険に気付くあなたの日

そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全

(令和6年7月1日～7月7日)

厚生労働省では7月1日から1週間、「全国安全週間」を実施します。

今年で97回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

これまで、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しておりますが、令和5年の労働災害については、死亡災害は前年を下回ったものの、休業4日以上の死傷災害は前年を上回り、近年、増加傾向に歯止めがかからない状況となっています。

特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害、墜落・転落などの死亡災害が依然として後を絶たない状況にあります。

そのため、厚生労働省では、7月1日(月)から7日(日)までを「全国安全週間」、6月1日(土)から30日(日)までを準備期間として、各職場における巡視やスローガンの掲示、労働安全に関する講習会の開催など、さまざまな取組を実施します。

伊勢労働基準監督署においては、地域の特色でもある旅館業の災害防止のため、7月5日、伊勢労働基準監督署長とSAFE サポーターに就任したFC.ISE-SHIMAの選手による安全パトロールを、鳥羽国際ホテル(伊勢志摩リゾートマネジメント)において実施します。

また、8月には転倒災害防止の説明会を、10月には社会福祉施設における腰痛災害防止の説明会を実施する予定です。詳細が決定次第、ホームページ「伊勢労働基準監督署からのお知らせ」で周知いたしますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。なお、建設業を営む事業主の皆様には現在応募受付中の、「石綿による健康障害予防研修会」にもぜひご参加いただければ幸いです。

令和6年度 墜落災害防止強調月間

墜落災害は中長期的には減少傾向にあるものの、依然として死亡災害が最も発生している類型であり、重要な災害類型の一つです。

また、最近の傾向として、建設現場における足場のみならず、ハシゴ・脚立やトラックの荷台・階段など、様々な箇所で墜落災害が発生しており、死亡災害にもつながっています。

三重労働局では毎年7月と12月を墜落災害防止強調月間として、現場巡視等の活動をおこなっています。この機会に別添のチェックリストをご確認いただき、事業場内の墜落防止措置の見直しを図っていただくよう、よろしく願いいたします。

お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課

TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

